

2-34-10 桂春院 けいしゅんいん

慶長3年(1558)に美濃の豪族石河壹岐守貞政いし、こい、きのかみさだまさが桂南和尚けいなんを講じて創建した妙心寺の塔頭の一つで、東海派に属している。

庭園は方丈の南、東及び前庭の三つに分かれる。方丈南庭は、北側の崖を躑躅つつじの大刈り込みで蔽いおお、その下に東より椿、紅葉等を植え、庭石を七五三風に低地を利用した飛石本位のもので茶庭の観をそなえている。

茶室は草庵風の3畳の席で、藤村庸軒ふじむらようけんの好みと伝えている。宗和型の灯籠がある。

京都市

説明板より